

平成28年度人事院政策評価結果

政策所管部局

人材局・公務員研修所

| | |
|----------------------|--|
| <p>政 策</p> | <p>2 国際化に対応し得る行政官の育成</p> |
| <p>目 標</p> | <p>(政策目標) 行政課題の国際化が進展し、各府省における人材育成ニーズも多様化する中で、我が国の国益を実現し国際社会に貢献できるような高度な能力を有する人材を育成するため、外国への派遣研修を適正に実施するとともに、若手行政官を対象とする行政研修において、国際化に対応した研修機会を強化する。</p> <p>(具体的取組) 採用直後の者を対象に実施している初任行政研修において、従来から行われてきた「国際行政の現場」「日本への期待」を着実に実施することに加え、日本留学中のASEAN諸国政府職員との意見交換を実施する。さらに、全コースで実施する2日間のディベートについて、一コースでは英語で実施する。</p> |
| <p>具体的取組結果</p> | <p>《取組内容1》初任行政研修における国際化対応科目の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的な業務の最前線で活躍した講師からその経験に基づく講義を聴く「国際行政の現場」を実施した。 ・ 各国駐日大使館に勤務する外交官から国際社会において我が国に期待する役割等について話を聴き、意見交換を行う「日本への期待」において、日本語のみで対応可能なグループを廃止し、全ての研修員を少なくとも1回は英語による意見交換に参加させた。また、一コースでは、全てのグループが英語のみで意見交換を実施した。 ・ 初の取組として、日本留学中のASEAN諸国政府職員との意見交換を一コースで実施した。この意見交換は、全て英語で行った。 ・ 一コースにおいて、2日間の政策ディベートを初めて英語で実施した。 <p>《取組内容2》係員級特別課程における取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係員級特別課程の全てのコースで実践的な英語学習ができる科目を実施した。 |
| <p>測定指標（ある場合に記入）</p> | |
| <p>達成度の評価</p> | <p>《評価》目標達成</p> <p>《理由》 初任行政研修において、研修員に、国際社会において我が国に期待されている役割等について考える機会を提供するとともに、英語を使用するプログラムを拡充するなど、国際化に対応した研修機会を強化した。 係員級特別課程においては、昨年度に引き続き、英語を学ぶことへの興味を高められるようなプログラムを提供した。 これら取組によって、国際化に対応し得る人材の育成の一助となったものと評価した。</p> <p>以上を踏まえ、平成28年度における政策は、目標達成と判断した。</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>施策の分析</p> | <p>初任行政研修は、将来的に企画立案業務に従事することが想定される者に対する研修であり、こうした職員に対し、早い段階から国際化に対応した科目による研修機会を付与し、国際的な業務に対する関心を高め、語学に興味を持たせるなどすることは、目標である国際社会に貢献できるような高度な能力を有する人材の育成につながる施策として、有効かつ効率的であったと考えられる。</p> |
| <p>今後の施策に反映させるべき事項</p> | <p>初任行政研修における国際化対応科目については、各府省から支持する意見が多く、国際化に対応できる人材の育成ニーズが高いことから、今後においても、行政の国際化に対応したカリキュラム（各国大使館職員、東南アジア諸国政府職員との意見交換等）について拡充を図る方向で検討する。</p> |
| <p>有識者の意見</p> | <p>○ 国際化に対応できる行政官を育成するためには、語学力の向上だけではなく、多様な価値観に対応できる能力や、タフに交渉することができる能力を身につけさせることがより重要である。日本に滞在する外国の大使館員等と交流・議論する機会の拡充などにより、研修内容をより充実させてもらいたい。</p> |